

全ての原子力発電所が止まっています。「政府が悪い、東電が悪いと言っているだけでは何も変わりません。結局は自分の判断で動くしかない。言えるのは『原発だけはこりこり』。そんないわき市民の思いを、自然エネルギー発電所を造る、という代替案で示そうと考えました」。いわき・おてんとSUN企業組合事務局長でコミュニケーション電力を担当する島村守彦さんは言います。

昨年七月のFIT(固定価格買い取り制度)導入後、福島県内でもメガソーラーや洋上風力等の

東北復興日記

58



認定NPO法人
JKSK理事
大和田順子さん

地産地消の自然エネ

ニュースがあふれ、盛ん
に企業誘致が行われてい
ます。が、それらは地域
活性化や復興につながる
ものなのでしょうか？

ニューズがあふれ、盛ん
に企業誘致が行われてい
ます。が、それらは地域
活性化や復興につながる
ものなのでしょうか？

首都圏の大企業がメガ
地域の人のよる地域の

バンクから資金を借り入
れて施設を造り、発電さ
れたエネルギーも売電収
入も都市部に行ってしまう
ままです。



「いわき」
を四月に完成させまし
た。

県の太陽光発電実証モ
デル事業で建設費の三分
の一の補助を得て、残り
は地元のいわき信用組合
から借り入れました。す
でに毎月二十万円弱の売
電収入を得ています。

ボランティアは、施工
だけでなく、津波被災地

や復興商店街の訪問、綿
畑での農作業も行い、ワ
ークショップを通じて明
日のいわきを一緒に考え
ました。共に汗を流し、
信頼関係をつくり、未来
づくりを行うことに私た
ちは価値を置いていま
す。

そして、首都圏からの
応援団に市民出資という
方法でも未来づくりに参
加いただけるよう検討を
始めたところですよ。写
真。

この連載は、東京の
NPO法人「女子教育
奨励会」と、被災地の
女性たちが協力して復
興に取り組む「結結
プロジェクト」の協力を
得て、掲載しています。